

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	213	施策	消防・救急救命体制の充実
管理事業	消防事業	所管部局	消防本部

1	所管 室課	企画総務室（総務予防室）	事業名	消防総務事業			
事業概要							
消防総務、消防職員教育、訓練充実							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
【消防総務】 庁舎設備等の維持管理を目的とした保守点検の実施や、光熱水費の適切な予算執行に努めた。また、消防・救急体制を維持するため職員に対する感染症予防のための各種予防接種、健康診断及び採用試験等を実施した。 【消防職員教育・訓練充実】 多種多様な災害現場等に対応するため、必要な研修や教養への派遣を実施し、スキルアップを図った。 消防大学校、大阪府立消防学校、大阪市消防局高度専門教育訓練センター等への派遣実績 令和5年度…延べ84名派遣 令和6年度…延べ86名派遣 令和7年度…延べ93名派遣			決算額 (千円)	192,955	261,440	246,635	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	94.1	87.6	88.6	☐ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			安心安全なまちづくりのために、必要な資格取得・教養への参加を継続的に実施し、消防・救急体制を維持するため、継続的に推進していく必要がある。 また、内部管理の事業が多く数値化しにくいところが多いが、効率化、コスト削減等を意識しながら事業を進める必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	
						引き続き、効率化、コスト削減等に努める。	

2	所管 室課	企画総務室（総務予防室）	事業名	消防団運営事業			
事業概要							
消防団運営							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
【消防団運営事業補助金の交付】 団本部、各分団、班の消防団の運営にかかる補助対象事業に対し、補助金を交付した。 令和5年度…1,892,060円 令和6年度…2,004,000円 令和7年度…1,991,711円 【消防団 出動件数】 令和5年度…火災出動167件、訓練出動352件、警戒出動205件 令和6年度…火災出動118件、訓練出動340件、警戒出動199件 令和7年度…火災出動130件、訓練出動240件、警戒出動196件 【女性消防団員の活動環境整備】 女性団員が所属する詰所の環境を整備した。 令和5年度…千二分団詰所女性用トイレ 令和6年度…吹一分団詰所女性用トイレ 令和7年度…千一分団詰所建替えに伴う解体工事 【消防団員の入団促進】 本市で実施される各種イベントに消防団ブースを設け、本市消防団の魅力を伝えることで、消防団への入団を促進した。 令和5年度…消防団員入団者9名 令和6年度…消防団員入団者9名 令和7年度…消防団員入団者3名			決算額 (千円)	59,450	63,944	84,722	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	89.3	85.4	65.7	■ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			近年は少子高齢化に伴う若年層の減少、就業構造の変化、地域奉仕精神の希薄化などにより、消防団員の減少に歯止めがかからず、社会問題となっている。今後はこれまで以上に消防団員の処遇面等を改善するとともに、消防団への加入を促進して、消防力の向上に努める。 また、全国的に多発している大規模な自然災害に対応すべく、消防団装備の充実強化を図る必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	
			引き続き、消防団への加入促進のため、広報活動に努める。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
企画総務室（総務予防室）	北部消防庁舎等複合施設建設事業（消防庁舎）		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	213	施策	消防・救急救命体制の充実
管理事業	消防事業	所管部局	消防本部

3	所管 室課	企画総務室（総務予防室）	事業名	消防庁舎等管理事業			
事業概要							
消防庁舎等管理							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
【令和5年度】 ・南消防署南正雀出張所移転建替工事設計業務 ・南消防署南正雀出張所建設工事 ・南消防署南正雀出張所建設工事監理業務 ・（仮称）北消防署北千里出張所建設ほか工事設計業務 【令和6年度】 ・旧北消防署解体撤去工事監理業務 ・旧北消防署解体撤去工事 ・東消防署大規模改修及び昇降機設置工事監理業務 ・東消防署大規模改修及び昇降機設置工事 ・南消防署南正雀出張所屋外整備工事 【令和7年度】 ・東消防署大規模改修及び昇降機設置工事 大規模改修しバリアフリー対応するとともに女性職員専用工 リアを整備した。 ・（仮称）北消防署北千里出張所建設工事 中央環状線以北の消防力の維持のため、災害対応拠点としての 充実を図るとともに、女性職員専用エリアを整備した。 ・中消防庁舎解体撤去工事			決算額 (千円)	613,056	215,157	1,178,447	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	84.9	22.9	21.4	☐ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
災害対応拠点である消防庁舎の維持管理のために、必要最低限の補修を実施しており今後も継続し実施していく必要がある。 大規模改修については、消防施設という特性上、使用を継続しながらの工事となるため、工事期間が長くなるとともに費用面で効率性に課題がある。				今後の実施計画 の方向性・内容			
				継続 消防庁舎の維持管理のため、引き続き実施していくよう努める。			

4	所管 室課	安全監理室（総務予防室）	事業名	予防事業				
事業概要								
防火意識普及啓発、予防査察・自主防火管理充実、自主防火組織育成強化								
活動実績				年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
【予防査察】 ・立入検査数 令和5年度3,655件、令和6年度3,951件、令和7年度2,916件 【住宅防火訪問】 春と秋の火災予防運動週間に住宅防火訪問を実施し、併せて住宅用火災警報器の設置率調査を行った。 ・訪問世帯数 令和5年度2,875世帯、令和6年度2,987世帯、令和7年度2,858世帯 ・設置率 令和5年度84.0%、令和6年度86.0%、令和7年度82.3% 【防火作品（図画・標語）の募集】 市内の小・中学校の児童・生徒から募集した。 ・応募数 令和5年度 図画320 標語192、令和6年度 図画892 標語740、令和7年度 図画132 標語348 【消防音楽隊】 ・消防音楽隊演奏数 令和5年度12回、令和6年度13回、令和7年度11回 【吹田市家庭防火クラブ】 家庭からの火災発生を防止するために知識及び初期消火方法等の技術の習得や研修会を実施した。 ・会員数 令和5年度276名、令和6年度248名、令和7年度218名				決算額 (千円)	2,582	3,597	3,799	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
				一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ■ 効率性
				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
				住宅防火訪問等を通して、防火意識の普及と火災予防の推進、繰り返し各施設への査察を実施し、現地指導の充実と自主防火管理体制の確立を図り、火災予防対策を、今後も継続していくことが必要である。 家庭防火クラブは火災予防の知識と消火器の取扱い技術の習得や研修会を通じて隣保協力体制と連帯意識の高揚を継続して図っていく必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容
								継続
								引き続き、火災予防 事業の継続に努める。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	213	施策	消防・救急救命体制の充実
管理事業	消防事業	所管部局	消防本部

5	所管 室課	救急救助室（警防救急室）	事業名	救急事業			
事業概要							
救急活動、救急救命士資格取得推進、高規格救急自動車等資器材整備、応急手当普及啓発、救急業務体制整備							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
【救急活動】 令和5年中 救急出動件数 23,149件 救急搬送者数 20,622名 令和6年中 救急出動件数 23,401件 救急搬送者数 21,115名 令和7年中 救急出動件数 23,519件 救急搬送者数 21,373名 【救急救命士資格取得推進】 救命士養成課程派遣人数 令和5年度 5名 令和6年度 5名 令和7年度 5名 【高規格救急自動車等資器材整備】 救急車更新（西救急車）に伴う資器材整備及び維持管理目的での保守点検など。 【企業版ふるさと納税の活用】 救命講習用の訓練人形を購入し応急手当の普及活動に活用した。 【応急手当普及啓発】 救命講習受講者数 令和5年度 9,118人 令和6年度 11,418人 令和7年度 9,677人 【救急業務体制整備】 検証会議 年12回、症例検討会 年2回、近畿救急医学研究会などの職員派遣。			決算額 （千円）	26,129	29,649	29,286	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（％）	100.0	68.3	100.0	☐ 有効性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☒ 効率性	
			救急出動件数の増加及び感染対策資器材の使用数増加対応のため、医薬材料購入費の削減は実施困難である。 救命講習の受講者数は概ね1万人を達成できており、今後も継続して応急手当普及啓発活動を進めていく。			☐ 公平性	
						☒ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	
			継続				
			応急手当普及啓発活動の評価、検証を実施。				

6	所管 室課	救急救助室（警防救急室）	事業名	救助事業																		
事業概要																						
救助活動、救助資器材等整備																						
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点															
火災や救助等の通常災害に加え、CBRNE（C＝化学 B＝生物 R＝放射性物質 N＝核 E＝爆発）・テロ等の特殊災害、豪雨などによる土砂災害、地震をはじめとする大規模自然災害等から要救助者を安全・確実・迅速に救助するため、各種救助資器材の取扱いや救助技術を練磨するとともに、救助活動に対する幅広い知識と高度な技術を習得するために必要とされる専門的な教育による資格の取得や各種研修への参加を実施した。 また、災害現場における救助活動に必要な資器材の整備を実施した。 【救助活動】 <table><tr><td>令和5年中</td><td>救助出動件数</td><td>326件</td><td>救出人員</td><td>165人</td></tr><tr><td>令和6年中</td><td>救助出動件数</td><td>352件</td><td>救出人員</td><td>164人</td></tr><tr><td>令和7年中</td><td>救助出動件数</td><td>401件</td><td>救出人員</td><td>218人</td></tr></table>			令和5年中	救助出動件数	326件	救出人員	165人	令和6年中	救助出動件数	352件	救出人員	164人	令和7年中	救助出動件数	401件	救出人員	218人	決算額 (千円)	6,009	8,907	5,774	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			令和5年中	救助出動件数	326件	救出人員	165人															
			令和6年中	救助出動件数	352件	救出人員	164人															
			令和7年中	救助出動件数	401件	救出人員	218人															
			一般財源 の 比率(%)	99.8	99.8	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性															
事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容																		
災害の多様化に伴い、救助資器材の更新、充実強化に今後さらなる予算が必要になる可能性がある。																						
継続																						
				引き続き事業を着実に進める。																		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	213	施策	消防・救急救命体制の充実
管理事業	消防事業	所管部局	消防本部

7	所管 室課	警防戦略室（警防救急室）	事業名	警防事業			
事業概要							
警備活動、消防車両整備、消防装備品整備							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
法令や指針等に定められた機器の点検整備、資格の習得等、適切に警防活動が実施できるよう計画実施し、迅速な対応が求められる消防業務に支障をきたすことなく、常に適切な消防力を維持した。			決算額 （千円）	116, 806	108, 510	109, 021	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（%）	30. 1	0. 0	0. 0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
【警防活動】 令和5年中 火災件数 36件 災害出動総件数 2, 029件 令和6年中 火災件数 37件 災害出動総件数 2, 157件 令和7年中 火災件数 37件 災害出動総件数 2, 306件 【出火原因調査】 令和5年中 焼損棟数 28棟 焼損床面積 514㎡ 令和6年中 焼損棟数 34棟 焼損床面積 292㎡ 令和7年中 焼損棟数 34棟 焼損床面積 458㎡ 【警防体制の充実強化】 車両法定点検（延べ台数） 令和5年度 157台 令和6年度 160台 令和7年度 159台 大型一種自動車運転免許取得者 令和5年度 4名 令和6年度 3名 令和7年度 5名 中型一種自動車運転免許取得者 令和5年度 5名 令和6年度 3名 令和7年度 5名 2級小型船舶取得者 令和5年度 5名 令和6年度 5名 令和7年度 5名			多種多様な災害対応に向けた訓練・研修等により、職員の知識と技術向上を図る。 国の安全管理体制の見直しや消防行政へのニーズに対応するべく、限られた財源の中で必要な装備品を整備している。 消防車両は特殊機装が施されており、修理が必要な場合は費用が高額となるため、今後も予算編成と連携させ消防力の維持に努める。				引き続き、予算編成と連携させ、消防力の維持に努める。
			継続				

8	所管 室課	警防戦略室（警防救急室）	事業名	消防車両更新事業			
事業概要							
消防車両更新							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
【消防車両更新】 車両更新計画に基づき、老朽化した更新対象車両を更新。 ・令和4年度：更新対象車両24台の内5台を更新。 （救急車1台・司令車1台・小型タンク車2台 ポンプ車1台） ・令和5年度：更新対象車両27台の内3台を更新。 （救急車2台・ポンプ車1台） 新規車両1台を配備。 （救急車1台） ・令和6年度：更新対象車両27台の内4台を更新。 （はしご車1台・救急車2台・小型タンク車1台） ・令和7年度：更新対象車両27台の内4台を更新。 （救急車1台・小型タンク車1台・指揮車1台・ バイク1台）			決算額 （千円）	168,192	267,746	137,279	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	28.4	20.8	15.5	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
			車両認証不正による車両製造停止及び 車両安全装置の見直し等多岐影響によ り、機装車両（トラックシャシ）の確保 が困難となっているため、必要に応じて 債務負担行為として処理する。 未更新車両が蓄積しており、老朽化車 両による警防事業及び非常災害時の活動 への影響も危惧されるため、国の補助事 業を活用しながら、今後も引き続き適切 な車両更新に努める。				
			継続			引き続き、消防力の 充実のため適切な消防 車両更新に努める。	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	213	施策	消防・救急救命体制の充実
管理事業	消防事業	所管部局	消防本部

9	所管 室課	警防戦略室（警防救急室）	事業名	消防防災施設等整備事業				
事業概要								
防火水槽整備、可搬式小型動力ポンプ整備								
活動実績				年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
【耐震性防火水槽整備事業】 ・令和5年度：東御旅公園に60㎡1基及び広芝公園に100㎡1基を設置した。 ・令和6年度：青山台三角遊園に40㎡1基及び中の島公園に100㎡1基を設置した。 ・令和7年度：いずみ南公園に40㎡1基、ヒコーキ遊園に40㎡1基及び垂水上池公園100㎡1基を設置した。 【可搬式小型動力ポンプ整備事業】 ・令和5年度：王子公園内に1台整備した。 ・令和6年度：東御旅公園内に1台整備した。 ・令和7年度：ゆりのき公園に1台整備した。				決算額 (千円)	57,622	65,580	77,407	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
				一般財源 の 比率(%)	2.8	3.9	2.9	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
				両事業ともに、各地域における有用性を必要とする一方で、設置には一定の公共的スペースを必要としており、設置場所の確保及び設置方法を検討する必要があるため、計画どおりの進捗が難しい場合がある。				継続
								引き続き、事業を着実に進める。

10	所管 室課	指令情報室	事業名	指令事業				
事業概要								
消防通信指令事務共同運用、救急安心センター運営								
活動実績				年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
【消防通信指令事務共同運用】 吹田市・豊中市・池田市・箕面市・摂津市の5市で106, 838件の119番通報を受信し災害対応等を行った。 ・119受信件数 吹田市 31, 151件 豊中市 33, 002件 池田市 8, 725件 箕面市 12, 048件 摂津市 6, 861件 その他 15, 051件 【救急安心センターの利用実績】 (令和5年中) 府下全体の利用件数 325, 419件 吹田市内からの利用件数 13, 433件 (令和6年中) 府下全体の利用件数 347, 726件 吹田市内からの利用件数 14, 647件 (令和7年中) 府下全体の利用件数 354, 841件 吹田市内からの利用件数 15, 128件				決算額 (千円)	381, 470	3, 273, 180	1, 161, 539	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
				一般財源 の 比率(%)	22. 7	1. 6	9. 7	■ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
				消防通信指令事務共同運用では他市と共同運用することで費用面の節減効果を目指すとともに、消防力の効果的運用による市民サービスの向上を図っている。救急安心センター運営事業では事業参画前と比べ指令センターへの直接相談も激減しており、一定の効果が見られる。今後も救急車の適正利用等を踏まえ、救急安心センターを広く市民へ広報していく必要がある。				
				継続				
				引き続き、事業を着実に進める。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名